

■ 学校の共通目標

【HP公開用・様式1】

授業作り	重点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた指導を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の向上を図る。</li> <li>・各教科においてICT機器を効果的に活用し、全ての児童にとって「分かる授業」を展開する。主体的・対話的で深い学びのできる児童を育成するため、各教科を通して思考力・判断力・表現力が育む指導の充実を図る。児童同士が互いの考えを伝え合い、深く考えることで、共に学び合う児童を育成する授業作りをしていく。</li> </ul>
環境作り		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習目標や学習活動の明確化、見える化や振り返りができる提示の工夫、欠席者への配慮等、ユニバーサルデザインの視点を生かした学習環境づくりを進める。</li> <li>・各教員がICT機器を活用した実践などを紹介し合い、よく分かる楽しい授業に向けて改善に努める。</li> </ul>

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名や片仮名、漢字を正しい筆順で丁寧に書くことができる。</li> <li>・文章を音読することができる。</li> <li>・具体物や数ブロックなどの半具体物を使って数を数えたり、加法・減法の簡単な計算をしたりすることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 空書き、なぞり書きなどのステップを踏みながら指導する。漢字テスト等を定期的に行い、定着を確認する。</li> <li>② 追い読み、交代読みなど様々な音読方法を取り入れ、繰り返し読む指導を行う。</li> <li>③ 具体物や半具体物を操作したり、練習問題を繰り返し行ったりして、定着を図る。</li> <li>④ 家庭学習や朝学習でデジタルドリルを活用し、基礎・基本の習熟を図る。</li> </ol>
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科については、漢字を筆順通りに正しく丁寧に書くことができる。様々な文章表現に触れ、想像を豊かにし、語彙を増やす。</li> <li>・算数科については、たし算やひき算の筆算が正確にできる。かけ算九九を正しく覚えることができる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 毎日新出漢字の学習に取り組み、漢字のミニテストを行いながら、漢字の定着を図る。既習後、復習として繰り返しノート練習やテストに取り組み。</li> <li>② デジタルドリルや計算問題に繰り返し取り組み、計算力の定着を図る。九九カードを使用しながら毎日反復練習する。</li> </ol>
3 学 年	<p>新宿区学力定着度調査において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科の平均正答率は全国平均を下回っている。特に「聞くこと」の問題に対しては平均を約10ポイント下回り、大きな課題である。</li> <li>・算数科の平均正答率は全国平均を約</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科については、目的に応じて文を書いたり、自分の意見や考えを表現したりできる。</li> <li>・人の話を聞き、話に応じた返答ができる。</li> <li>・算数科は、たし算とひき算、かけ算などの計算のきまりを理解し、正確に計算で</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 児童が見通しをもって書くための例文を提示する。</li> <li>② ペア・グループ学習を積極的に取り入れ、友達と意見を交流する場を設定する。</li> <li>③ 算数科では、タブレット端末を活用し、</li> </ol>

	15ポイント下回っている。特に「時計」の問題に対しては全国平均を大きく下回っており、大きな課題である。	<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻や時間の違いを知り、正確に時計を読むことができる。</li> </ul>	<p>個の習熟度に応じたAI学習ドリルに取り組む時間を確保する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 立式する際の具体物、図、数直線などを活用する。</li> <li>⑤ デジタル教科書や具体物を活用する。</li> </ol>
4 学 年	<p>新宿区学力定着度調査において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科は全国平均とほぼ同じでおおむね達成しているが、「情報の扱い方」の単元で平均を大きく下回っている。</li> <li>・算数科は全国平均とほぼ同じでおおむね達成しているが、「乗法」や「平面図形」の単元で平均を大きく下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を問われているのか、必要な情報を落とさずに読み取ることができる。</li> <li>・基礎的な計算問題を正確に解く力を身に付ける。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 朝読書の時間を効果的に活用する。</li> <li>② 読む力を付ける課題設定を工夫する。</li> <li>③ デジタルドリルを活用する。(習熟のため)</li> <li>④ 丁寧に書くことや見直しを徹底させる。</li> </ol>
5 学 年	<p>新宿区学力定着度調査において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科は、全国と正答率が同じで概ね達成しているが、漢字の読み・書きが平均を下回っている。</li> <li>・算数科は全国平均を上回っているが、小数のかけ算・わり算の計算は平均を下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しく書き、ことわざや慣用句などを使って文章を書くことができる。</li> <li>・内容の中心や、段落ごとの要点を整理しながら読むことができる。</li> <li>・四則計算等の基礎的な計算問題を確実に理解する力を身に付ける。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 朝学習の時間に漢字のミニテストを実施する。(間違い直しの徹底)</li> <li>② 朝読書を活用し、読書量を増やす。</li> <li>③ デジタルドリルを活用する。(宿題での活用)</li> <li>④ 丁寧に書くことや見直しを徹底させる。</li> </ol>
6 学 年	<p>新宿区学力定着度調査において</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科は、教科総合では全国平均を上回っているが、言語事項と資料を活用して書くことは、平均を下回っている。</li> <li>・算数科は、教科総合では全国平均を上回っているが、小数のかけ算・わり算の計算と二次元表から数値を読み取る問題は平均を大きく下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を正しく書き、ことわざや慣用句などを使って文章を書くことができる。</li> <li>・内容の中心や大事な言葉に気を付けて文章を要約したり、資料を活用して自分の考えを根拠付けて書いたりすることができる。</li> <li>・習熟度別学習を効果的に行い、児童の算数的な思考力を高める。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 朝学習の時間に漢字のミニテストを実施する。</li> <li>② 各教科で積極的に辞書を活用し、意味や使い方を確認させ、語彙力を増やす。</li> <li>③ デジタルドリルや記述のドリルを繰り返し行う。</li> <li>④ 各教科の学習で考えの根拠となる資料を用いて書く学習を設定する。</li> </ol>
特 別 支 援			